

保護者の皆様

光風台小学校校長 増田 ゆか

### 学校教育自己診断の結果報告について

#### 1. はじめに

残寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年11月に実施いたしました「平成30年度学校教育自己診断（保護者用）」の集計結果と本校の分析結果をお知らせいたします。なお、自由記述欄に記名でご意見をいただいた方については、必要に応じて校長より個別に連絡をさせていただき、面談等を実施させていただきました。皆様のアンケート協力に感謝申し上げます。

同時に行った児童用・教職員用のアンケート結果については公表いたしません。その分析結果は来年度の学校教育並びに学校運営に生かしていきたいと存じます。

なお本アンケートの結果につきましては、学校協議会に報告し、委員各位のご意見ご提言をいただいております。

#### 2. 光風台小学校「学校教育自己診断」結果について

##### (1) 保護者アンケート回収状況

配布 227枚 (11月末児童数) 回収 222枚 回収率 97.8%

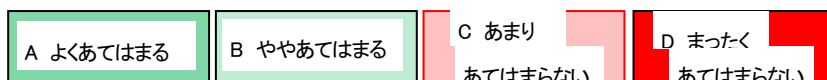
##### (2) 集計の見方 「A・B・C・D」の4段階での回答。

- ・「肯定的回答」 A：よくあてはまる、B：ややあてはまる
- ・「そうでない」 C：あまりあてはまらない、D：まったくあてはまらない

#### 3. 結果報告

##### (1) 教育活動に関すること

##### ①子どもに関すること



質問	学年	A (よくあてはまる)	B (ややあてはまる)	C (あまりあてはまらない)	D (まったくあてはまらない)
1 子どもは、学校生活が楽しいと言っている。	H28	45	49	4	2
	H29	50	42	9	0
	H30	55	38	6	0
2 子どもは授業が分かりやすいと言っている。	H28	29	58	12	1
	H29	30	60	9	1
	H30	33	58	9	0
3 子どもは学校の英語活動に興味を持っている。	H28	50	37	11	1
	H29	28	50	17	4
	H30	33	45	18	4
4 子どもは道徳の授業でよく考えていると思う。	H30	24	60	14	1

5	子どもは落ち着いて人の話をしっかり聞くことができる。	H28	19	57	21	3
		H29	30	50	18	2
		H30	27	50	21	3

No.1（学校生活が楽しい）、No.2（授業が分かりやすい）の肯定的評価の割合（A+B）は、今年度はいずれも90%を越え、「よくあてはまる」の割合が若干増加しています。昨年度から引き続き「確かな学び」事業の推進教員を中心に授業改善を進めておりますが、今年度はすべての教科で「書く力」を伸ばすため、振り返りの記述の習慣、自主学習ノートの活用、記述式の活用テストの実施などに取り組んできました。また、研究授業は指導案作成から模擬授業、事前授業まで、研究授業が授業改善の検証の場になるよう工夫しながら全ての学年で実施しました。

一方、No.3（英語活動に興味をもっている）の肯定的評価の割合は昨年度同様78%で、ここ2年減少しており、外国語（英語）活動への興味・関心の喚起に依然課題があると言えます。今年度は外国語専科、中学校英語科教員、ALTが協力して新学習指導要領を視野に入れた指導計画を立案・実施し、ICTを活用した授業に取り組んできましたが、低学年から外国語に触れる機会が増えている現状を踏まえた魅力ある活動を工夫する必要があります。

No.4（道徳の授業でよく考えている）は、今年度から実施した項目で、肯定的評価の割合は84%でした。子どもの学びが保護者にもご理解いただけるよう、道徳ノートの積極的な活用をさらに進めてまいります。

No.5（落ち着いて話をしっかり聞くことができる）は今年度の肯定的評価の割合が77%で昨年度と同程度ですが、学習規律の定着のため、組織的な取組みを再確認致します。

保護者・地域の方には、学校公開などで普段の学習の様子について参観していただく機会を設定しておりますが、参観以外でも授業見学に来ていただけます。今後も様々な機会を捉えて、保護者の方々の協力をいただきながら、楽しい学校になるように取組みを進めていきたいです。

## ②教職員に関すること

6	先生は、子どものことについて相談にのってくれる。	H28	38	49	10	3
		H29	41	49	9	1
		H30	41	54	4	0
7	先生は、子どもを理解してくれている。	H28	34	49	14	3
		H29	37	53	9	1
		H30	41	52	7	0

いじめ事象が複雑化し、見えにくくなっている昨今、教職員との信頼関係は特に重要と言えます。No.6（先生は相談にのってくれる）、No.7（先生は、子どもを理解してくれている）は、いずれも肯定的評価の割合が90%以上で、「よくあてはまる」がここ3年増加しています。ちょっとした子どもの表情や態度の変化を見逃さず、子どもの声に耳を傾ける、保護者との連携を深める、SSW（スクールソーシャルワーカー）など専門的な知見から学ぶ、保幼小・小中連携を大切にするなど、安心して児童が学校に来られるよう今後も努めます。

③保護者・地域との連携

11	地域の方々の協力を得て学校教育を進めていることに共感できる。	H28	39	52	9	1
		H29	44	53	3	0
		H30	48	47	5	0
12	学校は保護者・地域の声を教育に活かそうと努めている。	H28	18	60	19	3
		H29	22	68	10	0
		H30	31	64	5	0
14	学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	H28	46	52	0	0
		H29	43	55	0	0
		H30	46	51	2	0

光風台小の特徴の一つに90名近いサポート・ボランティアさんや保護者の活躍があります。No.11（地域の協力を得て学校教育を進めていることに共感できる）は、本年度も肯定的評価の割合が95%と高い評価でした。地域に開かれた学校をめざし、保護者・地域の皆様のお力をお借りしながら、ご協力いただく方々にとっても楽しい教育活動を推進していきたいと思えます。

No.12（学校は保護者・地域の声を教育に活かそうと努めている）の肯定的評価の割合は、本年度95%で、過去3年間で徐々に増加しています。今後も保護者アンケートだけでなく、PTA活動や学校公開などさまざまな機会に保護者・地域の皆様の声や思いを傾聴し、いただいたご意見を学校運営に反映させていきたいと考えます。

No.14（学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている）は、本年度97%が肯定的な評価でした。土曜参観や学校公開など、参観しやすい設定を今後も検討しながら進めてまいります。

(2) 学校経営に関すること

①学校の環境ならびに情報発信について

15	学校は地震や台風など緊急の場合、適切に対応している。	H28	56	42	1	1
		H29	25	59	13	3
		H30	39	53	8	0
16	学校の施設・設備は学習環境・生活環境面で満足できる。	H28	11	48	34	7
		H29	10	48	35	7
		H30	8	38	40	14
17	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	H28	28	64	6	2
		H29	23	65	11	0
		H30	27	65	6	1

18	学校は学校便り・学年通信・学級通信・メール・ホームページ等、学校の情報を積極的に伝えている。	H28	35	55	9	1
		H29	34	57	8	2
		H30	39	55	5	1

情報発信は昨年度、肯定的評価の割合が減少したことを受け、PTA 運営委員会や保護者アンケートなどを通じてご意見をいただきながら改善を検討しました。

No.15（緊急の場合の対応について適切に対応している）は、肯定的評価の割合が91%と若干増加しました、緊急時の対応カードを見直し、緊急メールだけでなく学校HPなど複数の媒体による情報発信に努めたことを評価いただきましたが、保護者による引き取り訓練から見てきた課題や警報発令時の対応などについていただいているご意見など、課題解決に向け今後も検討していきます。

No.17（保護者に出す文書・事務連絡等は適切である）、No.18（学校の情報を積極的に伝えている）は本年度いずれも90%を越え、若干肯定的評価の割合が増加しました。共働き世帯に配慮し、保護者参加の行事はできるだけ早めに連絡する、低学年は学年・学級だよりを通じて準備物などの連絡をこまめにするなど、分かりやすく確実に伝えるよう努めたいと思います。

No.16（施設・設備は満足できる）は年々肯定的評価の割合が減少しており、もっとも評価の低い項目です。プールの水漏れ、洗面所の水漏れ、トイレの破損など、築40年を経過した施設の老朽化と経年劣化についてのご意見もありますが、今年度は猛暑対策に対する意見が最も多くありました。施設改善には予算等が伴うため、早期の改善が困難ですが、エアコンの設置などを関係機関に今後一層働きかけ、学校でできることは迅速に対応していきたいと思います。

## ②教育内容に関すること

8	少人数授業・コース別授業・交換授業等、指導の方法を工夫している。※3年生以上の保護者が回答	H28	28	54	14	4
		H29	32	59	7	1
		H30	35	60	5	0
9	通知表は、子どもの学力や学校での様子を適切に評価できるように工夫されている。	H28	15	68	14	4
		H29	17	71	9	3
		H30	20	63	14	2
10	学校では教育活動を通して心の教育(人権教育)が尊重されている。	H28	20	59	21	0
		H29	24	68	8	0
		H30	29	58	13	0
13	学校はいじめ防止・体罰のない学校づくりの取り組みを推進している。	H28	13	68	17	2
		H29	20	68	10	1
		H30	26	63	11	0

No.8 (指導の方法を工夫している) は、本年度95%でここ3年、肯定的評価の割合が増加しました。今年度も3～6年生で、国語・算数・理科などで少人数授業やチーム・ティーチング授業、コース別、課題別授業を実施してきました。校内研究協議会で個に応じた支援の方法のアイデアを出し合ったり、グループ活動の効果的な進め方などを協議したりしながら組織的な授業改善になるよう取り組んできました。また子どもの学習に向かう力を引き出すため、高学年では自主学習ノートなどに取り組み、家庭学習の定着にも努めました。推進教員による教職員向けの授業改善をめざした通信の発行、保護者向け学級通信での授業での取り組み内容の紹介など、効果があると考えている取り組みは今後も続けていきたいと考えています。

No.9 (通知表は子どもの学力や学校での様子を適切に評価できるように工夫されている) は、本年度肯定的評価は83%でした。新学習指導要領で評価の観点が変わること、町が校務支援システムを導入する予定であることを踏まえ、他校の通知表も参考にしながら、まずは電子化の方向で通知表をリニューアルする予定です。何ができるようになったのかを保護者の方に分かりやすく伝える通知表をめざし、検討を続けていきます。

No.10 (教育活動を通して心の教育が尊重されている) は、13%の否定的評価を真摯に受けとめなければなりません。同様に、No.13 (学校はいじめ防止等の取り組みを推進している) は本年度89%で、まだいじめの取り組みが不十分だとの評価が11%あり、昨年度から改善できていないことに目を向ける必要があります。「自分も他の人も大切にし、人とつながる児童」の育成は、本校の教育課題であり、本校の教育重点目標です。いじめによる自殺と学校、教育委員会の対応に関する報道を目にするたび、子どもの変化を見逃さず迅速に対応する体制を強固にしていくなり必要性を感じます。また、毎学期「いじめアンケート」を児童に実施し、個別指導・ケース会議を開くなど個々の子どもの問題に対応しているつもりですが、個々の課題解決的な指導だけでなく、子どもの人格や社会性、人権感覚の涵養を促す日々の指導を大切にしていきたいと考えます。

### (3) 家庭に関すること

19	家庭では、子どもに基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)がつくように努めている。	H28	41	54	5	0
		H29	39	54	8	0
		H30	39	55	5	1
20	家庭では毎日あいさつや言葉遣いなど礼儀について子どもと話す機会を持っている。 * 下線部、昨年度までは「毎日あいさつを交わしている」	H28	71	27	0	0
		H29	68	30	1	1
		H30	35	54	11	0
21	家庭では学校のことについて子どもと話す時間をもっている。	H28	52	44	0	0
		H29	47	48	4	0
		H30	40	56	4	0

No.19 (子どもに基本的な生活習慣がつくように努めている) は、本年度肯定的評価の割合は94%で昨年同様高い結果でした。No.20 (家庭では毎日あいさつや言葉遣いなど礼儀について子どもと話す機会を持っている) については、最近気になっている言葉遣いや礼儀を評価内容に加えました。そのせいか肯定的評価の割合が昨年度までより若干低くなりました。特に「よくあてはまる」の評価の割合が35%だったことが気になりました。言葉遣いや礼儀は知

識として教えるだけでは身につけません。学校でも学年だけでなく、異年齢の子ども、教職員、サポート・ボランティアさん、地域の人々へと活動の場を広げ、徐々に社会性を育てていく中で身に付けさせたいと思います。保護者のみなさまもどうか折を見て、話題にさせていただければと思います。

No21（学校のことについて子どもと話す時間をもっている）は、肯定的評価の割合は例年同程度ですが、「よくあてはまる」と回答した割合は年々減少しています。学校協議会では原因として携帯やゲーム、TV などへの依存があるのではと御示唆いただきました。2月の学級懇談会では携帯などを使用したSNSへの関わりについて意見交換をした学年もありました。お子様の表情を見て、話すことでちょっとした変化にも気づくことができます。情報通信機器の利用を否定する訳ではありませんが、意識的にお子様と話す時間を作っていただき、喜びや困り感を共有しながら、あたたかく見守っていただきますようお願いいたします。

#### 4 おわりに

今年度の結果は、概ね肯定的評価の割合が多く、学校としての取り組みが、一定、地域・保護者の皆様方に認めていただけている証左と考えますが、肯定的評価としている「ややあてはまる」に込められた意味に目を向ける必要があると学校協議会で意見いただきました。「よく分からない」「どちらともいえない」というご意見があるのではないかと学校協議会で意見いただきました。「よくあてはまる」と回答いただけた割合が少ない項目についてはまだまだ十分とはいえません。特に学習面では外国語の指導、学校経営の面では、学校安全と環境設備についての課題が明らかになりました。

外国語活動については英語を耳にする機会が増え、学校での外国語活動が子どもにとって目新しさのないものになったことは否めません。言語の背景にある文化などを国語や他の教科と関連付けながら学んだり、学んだことを修学旅行など実際に使ったりするような機会を意図的に仕組むなど、子どもにとって学ぶ楽しさや意義を実感する活動にしなければなりません。そのためのカリキュラム・マネジメントの重要性を認識しました。また、教職員の研修も重要です。学級を持ちながらの出張が難しい中、今年はOJT(On-the-Job Training[現任訓練])を意識しました。まだまだ組織的な取り組みとしては不十分ですが、これからも協力しながら力量を高めていきたいです。

学校安全については、今年度は、自然災害への対応に追われましたが、交通安全、登下校路の安全、不審者対応も検討事項です。地域安全マップ事業に取り組む中で、子どもが実際にフィールドワークをすることで、実感を伴う安全教育になり得ることが分かりました。教職員の不審者対応訓練では、子どもを守るために学校の構造をしっかり把握した上で、避難指示を出すなど、訓練を重ねることの重要性を認識しました。設備については、安全の視点を第一に優先順位を決め、豊能町教育委員会と相談しながら今後も進めてまいります。

本校は、老朽化は進んでおりますが、豊かな自然にあふれた広い敷地に学校田や畑を有し、少人数学習や調べ学習を行える教室も多くある恵まれた環境にあります。光風台小を卒業された保護者の方をはじめ、地元愛あふれる人々が学校を支えてくださっています。教育大綱が示され、学校の再配置も検討されていますが、光風台小の良さを継承していけるよう、さまざまな関係機関と連携しながら取り組みを進めていきます。

重点目標である「自分も他の人も大切にし、人とつながる児童の育成」、「自ら考え、伝え合いながら、学びを深める児童の育成」の具現化に向け、保護者・地域の皆様方のご意見を真摯に受け止め、日々の教育活動を進めていく所存です。

診断項目へのアンケート、また、たくさんの貴重なご意見をいただいたことに感謝申し上げますと共に、今度もどうぞ忌憚ないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。